

## 燕岳～常念岳 山行報告

(山域) 北アルプス南部

(コース) 燕岳～大天井岳～常念岳～一の沢

(日時) 平成27年 6/4 (木) ～6/7 (日)

(参加者) CL 鈴木憲二 鈴木愛子

(山行タイム)

6/4 (木) 千葉⇒道の駅 松川 (泊)

6/5 (金) 道の駅 松川⇒しゃくなげ荘発 6:50 のバスに乗る⇒中房温泉 7:30 着 7:35 発～  
合戦小屋 10:35 着 11:00 発～燕山荘 12:10 着

6/6 (土) 燕山荘 6:30～大天井岳 9:55～常念小屋 13:25 着

6/7 (日) 常念小屋 6:05 発～常念岳頂上 7:05 着 7:35 発～常念小屋 8:20 着 8:40 発～ヒエ平登山口

(山行報告)

### 6/5 (金) 天気 曇り時々晴れ 後 雪

中房温泉からしばらく歩くと、イワカガミ、マイズルソウが沢山咲いていて私達を迎えてくれた。

富士見ベンチで遠く富士山が見え、元気をもらおう。そこを超えると、ちらほら雪が出て来た。

合戦小屋は全然雪なし。合戦小屋から上は所々夏道、所々雪、合戦の頭から燕山荘までは雪道であった。20年位前、6月5日頃登った時は、合戦小屋から上はもっともっと雪が沢山あったのに、今年は少なかった。雪がクサッていたので、燕山荘までアイゼンはつけずに登れた。槍ヶ岳がよく見え、励まされた。

燕山荘まで30分位の所辺りから雪が降り始め、風も強くなってきた。燕山荘にリュックを置いて、サブザックで燕岳頂上まで行く予定であったが、悪天候なので、何度も登った事があるし、登る事は止めにした。夕方まで雪が降り、部屋の窓から屋根を見ると、雪が1cm位積もり真っ白になっていた。北アルプスは6月でも雪が降るのだなと思った。

### 6/6 (土) 天気 霧雨 ガス深し 後 曇り時々晴れ 後 ガス深し

朝、冷たい霧雨の中、出発。ガスが深く何も見えない。天気が良ければ、槍・穂高がよく見え、気持ち良い稜線歩きだろうになと思ひながら歩く。

切通し岩の手前、キバナシャクナゲ、ミヤマダイコンソウに似た花が沢山咲いていて綺麗であった。

大天井岳への登りは、喜作レリーフから冬季コースの稜線を直登した。

大天井岳頂上を越えてから時々晴れてきて、穂高が見える様になったが、槍は中腹から下しか見えなかった。稜線は雪がある部分は少なかった。

常念小屋に着く頃より、ガスが深く何も見えなくなり、常念岳頂上へは、明日登る事にした。

### 6/6 (日) 天気 晴れ後曇り

4:30に常念小屋の前の峠からご来光を眺めた。素晴らしいご来光であった。槍・穂高の朝焼けが綺麗であった。

その後、朝食を食べ、小屋を6:05出発し、常念岳頂上へ。全然雪はなし。快晴で、ずっと槍・穂高が見え、気持ちよく歩く。山々の雪の白とハイマツの緑と真青な空の色のコントラストがとても綺麗であった。

頂上は360度の素晴らしい眺めであった。槍・穂高、富士山、南・中央アルプス、剣岳、白馬等の後立山連峰、妙高山、火打岳等々、あまりにも良い眺めで去りがたく、頂上で30分もゆっくり眺めを楽しんだ。

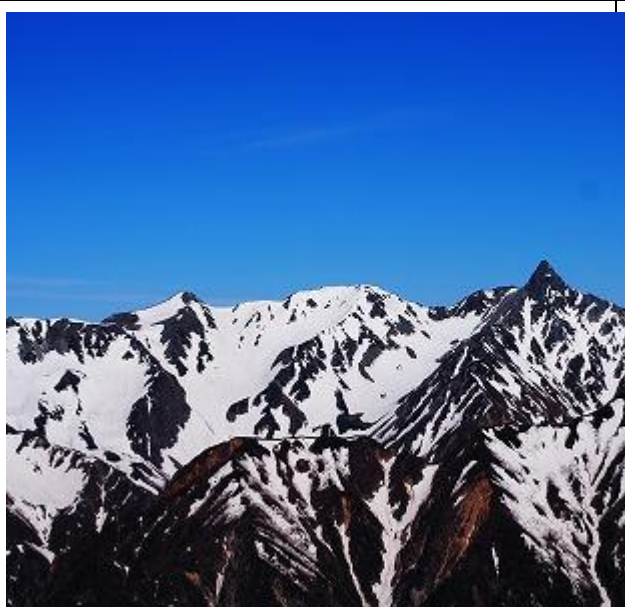
常念小屋を出る前に、一の沢登山口からしゃくなげ荘までのタクシーを予約してから下山開始。

一の沢登山口までは、所々短い部分の雪道あり、200m位長い雪渓歩きあり、チョロチョロ水が流れている沢歩きあり、緑の綺麗な森の中を歩いたり、変化にとんだ下山コースであった。

そしてこの下山コースは、合戦尾根コースより花が沢山咲いていた。アカヤシオツツジ、山桜、イワカガミ、黒百合、スマレ、ゴゼンタチバナ、ニリンソウ、ハクサンチドリ、名前が分からない白い小さな花等々に会え、とても嬉しかった。

タクシーで駐車してあるしゃくなげ荘まで行き、日帰り温泉に入り、帰葉。

※しゃくなげ荘の日帰り温泉代は410円で安く、お薦めです。





2015年6月13日 記録 鈴木愛子